

令和3年度泉大津市事務事業外部評価結果

NO.	事業名	評価結果	主なコメント
①	オリアムエッセイ賞事業	B:改善し継続	<p>○本事業のPR効果を高めるために、新たな手法の検討が必要である。例えば学校との連携や地域学習とエッセイ教室を組み合わせたワークショップの開催や、オンラインプラットフォームの活用等が考えられる。事業実施にあたっては、その効果について検証する手段の検討も併せて求められる。また、媒体の検討を含め、若年層へのPR方法を模索する価値があると考ええる。</p> <p>○繊維産業に関する情報を積極的に発信することや、具体的な土地とエッセイのエピソードを結びつけ観光資源とすることで、市のPRとなり、応募促進につながると考える。</p>
②	ファミリーサポートセンター事業	B:改善し継続	<p>○提供会員・依頼会員の双方を増やすためには、それぞれの生活スタイルやニーズを調査・分析し、アプローチ方法について検討する必要がある。また、提供会員に関しては比較的若い層へのアプローチといったことも検討する価値があると考ええる。</p> <p>○提供会員の登録が少ない要因について、より詳細な分析と対策が必要である。また、その要因が料金と関連しているのか明らかにすることが望まれる。</p> <p>○本事業は重要なサービスであることから、会員間交流や意見交換、e-learningを活用し提供会員が研修を受講しやすい環境を整える等さらなる充実を図ることが望まれる。</p>
③	交通安全教育・啓発事業	B:改善し継続	<p>○コロナ禍に対応すべく、交通安全啓発コンテンツのオンライン化を積極的に検討すべきである。</p> <p>○地域や学校と連携し、学校が独自で利用できる交通安全につながる教材の提供等セーフコミュニティ活動の成果を活かす工夫を検討する必要がある。</p> <p>○ヘルメット助成について、デザインの公募・コンテスト等、新たなPRの取り組みが望まれる。</p>